

# はんさん

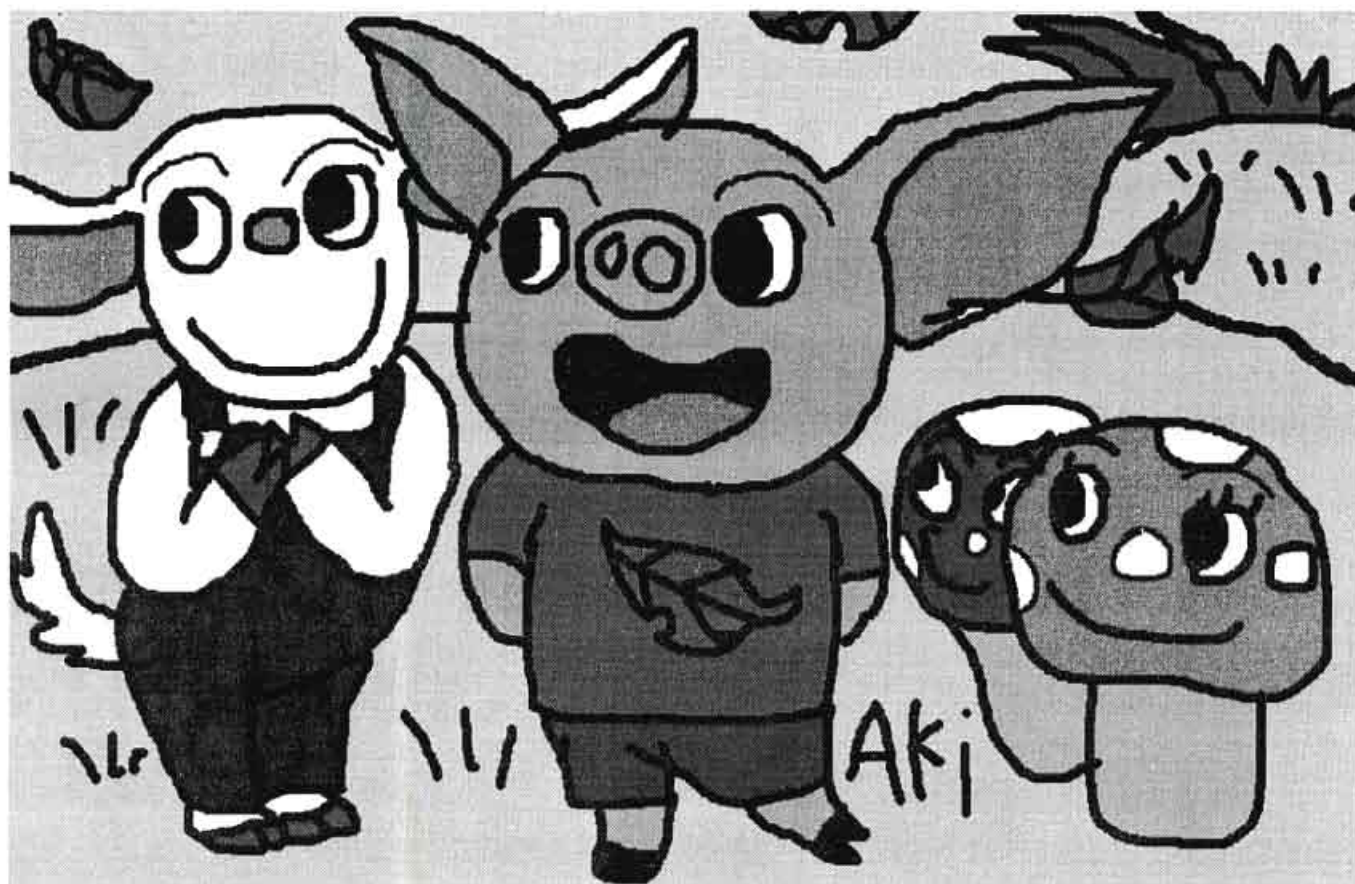
【はんさん】は【Hot And New South Akita Npo】の頭文字から名付けた造語。【県南のNPOを情報でつなぐ】という思いをこめました。

Vol. 7

2005

November

平成17年11月15日



“うあー 枯葉だあー”

イラストレーション：小野崎 晶

## もくじ

- 【特集】「地球丸ごとNPO」を目指して！…… 2
- 県外ナンバーです…… 3
- ボランティア・活動交流広場…… 4
- お役立ち情報…… 4
- コラム 県南弁ゼミナール…… 4
- 応援します。…… 5
- イベント情報、助成金情報…… 5～7
- ボランティア・カレンダー、編集後記…… 8

# 特集

## 「地球丸ごとNPO」を目指して!



NPO法人岩崎NPO  
事務局長 高橋岩五郎さん

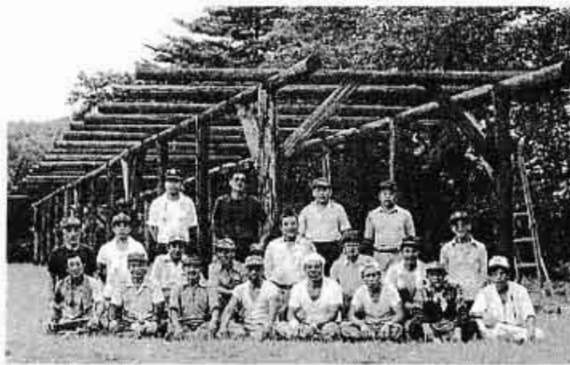
市町村合併が進み、地域コミュニティ活動がますます求められるようになってきた。住民主導による地域づくり運動（対話の土俵づくり運動）を起こしてから三五年。これまでの実践から何か助言できないか、共に考えたい、焦らず一歩ずつ、住民主体によるまちづくりの普及に貢献したいと、地域づくり「出前出張」を、今年八月から始めた。そのNPO法人岩崎NPO事務局長の高橋岩五郎さんに、お話しをうかがった。

岩崎地区は、湯沢市の北端に位置し二〇〇〇人の弱の小さな地域。世帯数は六二二。コミュニティ活動には手ごろの規模である。岩崎地区町内協議会と自治団体連合会議（自治会議）と岩崎NPOの三団体が「住民主体まちづくり」を共通目標に、相互に補完しながら、コミュニティ活動を進めている。

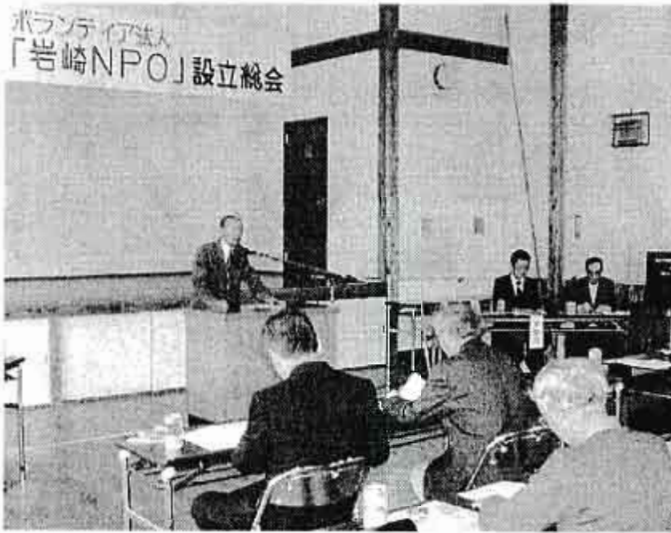
住民対話集会（住民のつどい）に取り組む前の昭和四三年から四五年までの三年間、岩崎地区では、公民館の移転先を巡り、町内会同士の「位置争い」が続いていた。会議で十分話し合い、移転場所を決めても、その移転場所に反対する町内会が、市教育委員会に直接陳情書を持参して、反対を訴えたりという「内紛劇」を三年間も演じたのである。結局、地区内で住民合意を得ることが出来ないまま、市に一任する形となった。こうした

地域の状況に自分たちの将来を危惧した青年会OBの仲間たちが「対話の土俵づくり運動」を立ち上げた。昭和四五年秋のことである。事あるごとに、もめるのは、この地域に地域全体の立場から話し合えるテーブルがないからだ、土俵がないからだ。争いの原因を分析した彼らは、地域づくりに口を出し、体を動かす意を固め、「対話の土俵づくり」に挑戦したのだった。

「住民のつどい」という対話集会を二〇数年続け、常に「現在の地域課題は何か」を話し合い、その課題解決に、誠心誠意、汗を流してきた。保育園建設運動、お返し廃止運動、祭壇共同利用事業、環境整備十大運動、フジ柵作り運動、川のごみ上げ運動など、すべて「住民対話集会」と、事前の「巡回町内懇談会」からスタートした。



S02.8 フジ柵づくり（千年公園）



H14.10 「岩崎NPO」設立総会



岩崎NPOは、地域コミュニティを支援する目的で、平成十四年十月に立ち上がった。地域づくり団体を個人が機動力で応援し、地域ぐるみでより充実したコミュニティ活動を進めようとしたのである。三五年間マイペースで進めてきた岩崎地区のコミュニティ活動。「マイペース」では合併の中に埋没してしまうかもしれない。こうした懸念が昨年秋の「合併後の地域自治組織を考えるワークショップ」開催をきっかけに、関係団体の話し合いにつながった。平成の合併を「地域力アップ」へ向かうチャンスととらえ、「行政との協働」に備え、基盤を整備し、「地域力」をより高めていくように、学習と実践を一体的に進める生涯学習を構築していききたいと、高橋さんは抱負を語ってくれた。



H14.11 ポイント制ボランティア「ツツジ囲い作業」

**NPO法人 岩崎NPO**  
 代表 今野 武志  
 湯沢市岩崎字北一条三〇番地 岩崎公民館内  
 TEL 0183 (73) 2904

## ‘車座会議’ 始まりました。

10月3日(月)大仙市、5日(水)湯沢市で第1回車座会議が行われました。これは、地域で活動するNPOが地域づくりにどのように関わっていくのか、その地域社会に果たす役割について地域での認識を深めるとともに、地域づくりに関わる地域住民、町内会、NPO、行政等の地域を構成する各主体が互いの役割分担を考える契機として、話し合いの場を持つことを目的に実施するものです。2会場とも活動紹介など活発な意見交換会になりました。

また、第2回目は11月1日(火)大仙市、10月28日(金)湯沢市で行われ、ワークショップ形式で活動上の問題点などについて話し合いました。県南では、大仙市と湯沢市の2会場で今後各2~3回開催します。次回以降、会議の内容についてご報告していきます。

●問合せ先：秋田県生活環境文化政策課地域活動支援室  
 TEL 018(860)1520

## お知らせ

10月1日より、南部市民活動サポートセンターが  
**毎週木曜日 休館日**  
 になりました。  
 皆さまにはご不便をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

## 県外ナンバーです



楢下ボランティアガイド

県外NPOが活躍のフィールド

### 楢下塾保存会

会長：栗野 宰  
 山形県上市市楢下29  
 TEL & FAX :023-674-2861

え、蕪峠の家並みが数多く残る地区だが、時代とともにその姿が消えていった。昔ながらの家並みを残すため昭和五七年全戸加入の「楢下塾保存会」を設立した。平成七年に、羽州街道が国土交通省の歴史国道などに選定され、同九年この地区が国の史跡にも指定されたことから、保存のみならず活用しようという機運が高まり、「楢下宿観光ボランティアガイド」が発足。また子供達のキャンプや古民家コンサート等の企画・運営を行う「遊学楢下塾」、将来の方向性を探るための「アールカディア推進委員会」も設置された。委員会では地区民や識者などから広く意見を求め、行政の協力も得ながら意見を実行に移してきた。

そして、地域文化伝承の高齢者クラブ「じいちゃんズくらぶ」「ばあちゃんズくらぶ」も誕生し、お年寄りが元気になってきた。今後は、宿場町の景観を楽しみながら、農作業や自然体験などができる地域づくりに取り組み、子供たちが大人になっても住み続けたいと思う地域になればと願っている。

# ボランティア活動交流広場

本紙に寄せられた各団体の紹介と会員コーナーです。  
活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

## おはなしを楽しむ会

TEL 0182-32-6255

横手

「おはなし」を語る楽しさと、聞く楽しさ、そして情報交換の場を目指してスタート。会員制はとらず、読み聞かせの活動をしている人もそうでない人も、自由に参加してもらう形で回を重ね、この10月で12回を数えた。毎回5名程が「おはなし」を語る。その方法は、朗読、絵本、パネルシアター等様々。参加者20名前後の小さな会だが、「おはなし」の輪、そして人の輪が少しずつ着実に広がってきている事を感じている。

代表 小松恵里子



## トンギヨの会

TEL 0187-44-2170

仙北

仙北市域ではイバラトミヨのことを「トンギヨ」と呼んで親しんでいましたが、今では絶滅の危機にあります。会では、このような動植物のすめる環境を守っていきたくて考えております。

講演会の開催、先進地の視察、ブラックバス退治、地域調査、市の行事での展示発表、小学校の水槽でトンギヨの飼育など、継続した活動をしています。

多種多様な動植物と共存できる自然環境が、私たちの暮らしを豊かにするのではないのでしょうか。

代表 大石 淳



という所もある。「たつたす」は「たつたこしてみれ」と使い、テーブルにつかまり立ちの子が手を離しそうな時、「たつた、たつた、たつたよ」と、家族みんなではやしたてた光景も懐かしい。もう一つ、背中におんぶすることを「ばつばす」と言った。学校へ入る頃までアパジイデ(甘えて)「ばつばす」と言われたものである。

○でちやます 豊もないよ わが家には  
○足いえて 七十にして たつたこす

(湯沢市在住「会報シルバーゆざわ」編集委員 佐藤伊世子)

### 県南弁ゼミナール

#### ⑦ 「たつたす」・「でちやます」の巻(幼児語)

三、四歳の初孫に若いおばあさん、「ここさ、でちやませ」と、それを聞いていた息子(孫の父親)から厳重注意されたとのこの間の話。このおばあさんは、祖母や大叔母さんから正統湯沢弁を仕込まれたという。「でちやま」はおすわりを言う。「じちやま」

## お役立ち情報

### 「県民交流サロン」がオープンしました!! "9月1日から"

～ 皆様の活動を応援します ～

雄勝地域振興局では、県民の皆様が参画する様々な形の社会活動を支援するため、庁舎内に県民交流サロンを設置しました。地域の皆様の交流はもとより、ボランティアやNPO、まちづくり団体等の方々の情報交換、打合せの場として御利用いただきたいと思っております。是非、一度お越しください。

#### ◇県民交流サロンの機能(目的)について

- 各種県民運動のPR  
(ポスターの掲示、パネルの展示 ほか)
- 各種NPO・ボランティアや県民一人ひとりの社会活動のPR  
(団体・グループ等が発行する機関誌や情報誌等の備え置き)
- 市民活動関連情報の提供  
(参考図書、各種助成金案内、関連イベント情報 ほか)
- 交流・情報交換及び作業スペースの提供

- ・場 所 雄勝地域振興局庁舎1F  
湯沢市千石町二丁目1-10
- ・利用時間 午前8時30分から午後5時15分まで

※ポスターの貼付、パンフレットの備え置き及び打合せ等の利用については、事前に届出等が必要になります。下記へお問い合わせください。



～ 問合せ先～

雄勝地域振興局地域企画課県民生活班  
〒012-8570 湯沢市千石町二丁目1-10  
Tel 0183-73-8191 Fax 0183-72-5057



応援  
します!

県南のNPO  
ボランティア活動



湯沢市企画調整部総合政策課

政策企画班

主幹 佐藤 紀子さん

TEL 0183-73-2111

FAX 0183-72-8515

湯沢市男女共同参画活動拠点施設「はあとびあ」

グループの拠点として

湯沢市の市役所本庁舎向かいの湯沢生涯学習センターの二階に湯沢市男女共同参画センター「はあとびあ」があります。

男女共同参画の視点に立った女性の社会参加や生涯学習活動を支援する目的で設置され、インターネット接続のパソコンやコピー機、印刷機を置き、毎日午後一時から九時まで開設しています。この施設の特徴は、男女共同参画や健康、文化、国際協力活動等に関わっているグループが交代で事務機器の管理業務を行っていることです。この施設を利用する団体に管理してもらうことにより、自分たちの施設であるという意識を持ってもらえると考えています。

ここで多くの人やグループが出会い、ネットワークができ、活動の輪が大きく広がってゆくこと、お互いの活動がより深みのあるものとなることを願っています。又、多くの人がこの施設を利用した活動を通して、より快適な、充実した生活を営むことができるよう支援していきたいと考えています。まだ、いらしたことがない方は一度のぞいてみてください。

また今は、さまざまなグループの活動を支援するという形で設備の提供ですが、来年一月から柳町商店街の空き店舗に移転が決まっております。一階がファミリーサポートセンター、二階が男女共同参画センターとして、事業を計画しています。移転記念として一月二十一日午後二時から湯沢口イナルホテルで、講師師宝井琴枝さんの講演も予定しております。こちらへもぜひおいでください。

# イベント情報

## ◆国際理解・民衆交流会

中国・北京ご出身の淑玲さんとお友だちを講師にお迎えして、第2回北京の家庭料理の講習会を開催します。

日時：十一月十九日(土) 午前十時～午後二時

場所：横手女性センター(元横手市働く婦人の家)

参加費：500円(材料代)

主催：NPO法人グローバルよこて

申込み：電話&FAX 0182(32)0401 (黒崎)

## ◆地域主権時代の東北を考える

東北の地域力を考える

地域主権時代に向けて東北の地域力をどのように高めていくかを、産業・経済の振興方策と人口減少の地域戦略の2つの視点から考えます。

日時：十一月二十一日(月) 午後一時三十分～五時一十分

場所：ホテルメトロポリタン盛岡

参加費：無料

主催：(財)東北開発研究センター、岩手県、(財)岩手経済研究所

申込み：(財)東北開発研究センター

TEL022(222)3394

FAX022(222)3395

HP://www.tohoku-drc.or.jp

## ◆年賀はがき用版作り

親子で来年の干支の手作り年賀状を作ります。

日時：十一月二十三日(水) 午前九時～

場所：大森町ふれあいセンター 工作の部屋

定員：三〇名

主催：大森町 子どもと老人のふれあいセンター

申込み：子どもと老人のふれあいセンター

TEL&FAX0182(26)3520

## ◆子どもの生きる力を育てるためのワークショップ

CAPを知ろう!

子どもへのあらゆる暴力を許さない安全な社会を創るため、大人ができることを一緒に考えましょう。

日時：十一月二十三日(水) 午後一時三十分～

三時三十分

場所：横手市あさくら館

参加費：無料

託児：二〇〇円(子ども一人につき)

定員：五〇名

主催：秋田県おやこ劇場連絡会

申込み：横手おやこ劇場

TEL 0182(33)0812

## ◆地域づくり基本指針(仮称)の策定に向けた意見交換会(県南地区)

県民の皆さんが自発的に取り組んでいる多様な活動と連帯・協働しながらいつまでも心豊かに、健やかに生活できる地域づくりを目指し、その基本指針の策定に向けた意見交換会です。

日時：十一月二十四日(木) 午後一時三十分～五時

場所：横手市 かまくら館コミュニティ活動室

主催：秋田県生活環境文化政策課

地域活動支援室

申込み：地域活動支援室

TEL018(860)1520

HP://www.pref.akita.jp/seikatu/npo/ca03b.htm

## ◆第一回秋田県ボランティア・市民活動研究集会

情報交換と交流を深め、活動のスキルアップを図るため、学びと確認の場として開催します。

日時：十一月二十六日(土) 午前十時～午後四時

各種団体展示、飲食、福祉施設による販売コーナー、分科会

十一月二十七日(日) 午前九時半～午後三時

各種団体展示、飲食、福祉施設等による販売コーナー

場所：秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」

対象：ボランティア・市民活動に関心のある方

参加者：無料

主催：秋田県ボランティア団体連絡協議会、中央地区ボランティア連絡協議会、秋田市ボランティア連絡協議会

申込み・問合せ：秋田県ボランティア団体連絡協議会

TEL 018(864)2798

FAX 018(883)4218



## ◆「コミュニティ・ビジネスセミナー」

地域の課題を解決するために、ビジネス的手段で取り組むコミュニティ・ビジネスについて学び、事例者の話を聞きながら進めていきます。

日時：十二月二日（金）午後一時三〇～四時

場所：南部市民活動サポートセンター

内容：コミュニティビジネスに関する概要  
パネルディスカッション、意見交換

対象：コミュニティビジネスに関心のある人  
地域活性化のために何かしたい人

参加費：無料

定員：三〇名

託児：有り（十一月二日まで申込みください）

主催：秋田県

企画実施：NPO法人 秋田県南NPOセンター

申込み：南部市民活動サポートセンター  
TEL 0182 (33) 70002  
FAX 0182 (33) 70038

## ◆横手おやこ劇場 第五十回鑑賞活動

人形一座ホケキョ影絵芝居  
『けいご姫と大食象のガジヤ』

日時：十二月十一日（日）午後二時

場所：かまくら館

問合せ：横手おやこ劇場  
TEL 0182 (33) 0812

（火、金 十時～午後二時）

## 募集情報

### ◆「秋田のピカ☆いち」表彰候補団体公募！

県内の地域資源を活用して創意工夫を活かし、地域の賑わいの創出や、活性化に顕著な功績のあった団体の公募を今年も実施します。我こそは！「秋田のピカ☆いち」と思っている団体のみなさんのご応募お待ちしております！

賞金：最優秀賞 1点 20万円  
優秀賞 2点 10万円  
入選 2点 5万円

締切：十一月三十日（水）必着

表彰候補団体（5団体程度）は、平成十八年一月二十八日（土）開催の決定戦にてプレゼンテーションを行います。（なお、前年度受賞団体、応募

主催：秋田県商工会議所連合会  
協賛：秋田県  
申込み・問合せ：〒010-0923 秋田市旭  
北錦町1-47 秋田商工会議所内「秋田のピカ☆いち」決定戦事務局  
TEL 018 (866) 6670  
FAX 018 (862) 2101  
URL <http://akiacci.or.jp/>

### 「県との協働及び地域づくり等についての調査結果」について

今年6月に市民活動情報ネットに登録されている団体585団体を対象に上記アンケートへの協力をお願いしたところ、170団体から回答をいただきました。御協力ありがとうございました。調査結果については、地域活動支援室のHP (<http://www.pref.akita.jp/seikatu/npo/shishin/shishin2.htm>) で情報提供しておりますので、ご覧ください。なお、掲載内容に関する照会は、地域活動支援室までお願いします。

連絡先 秋田県民文化政策課  
地域活動支援室  
電話 018-860-1519

### お寄せください、紙面はあなたの情報がたよりです

活動広場・イベント情報掲載記事を募集しています！  
情報誌（はんさん）にあなたの団体を紹介してみませんか？

### 「県南のボランティアイベント情報」のコーナー

◎イベントタイトル◎開催日時◎会場◎  
問合せ先◎申し込み先◎場所◎電話◎FAX◎  
◎内容など100字程度でチラシがあれば一緒に送ってください。  
（次号は12月20日以降の情報となります）

### 「ボランティア活動交流広場」（会員募集）のコーナー

◎会の名前◎代表者氏名とお問合せ先の電話・FAX番号・e-mail◎活動内容等370字程度（写真ありの場合200字程度）でお送りください。  
各コーナーの情報は毎月25日までお送り下さい。原則的に翌月の発行分に掲載させていただきますが、紙面に限りがございますので掲載されない場合はご容赦ください。また皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。

〒013-0046 横手市神明町1-9  
南部市民活動サポートセンター  
「はんさん」編集部  
TEL: 0182-33-7002  
FAX: 0182-33-7038  
e-mail: [ssc7002@luck.ocn.ne.jp](mailto:ssc7002@luck.ocn.ne.jp)

## 秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報や話題をネットで皆さんのもとへお届けしています。登録していただくと、団体のプロフィールや目的、事業などをネット上で紹介することができます。ご希望の方には各地区のボランティア・NPO活動ニュースをお送りします。また、県北、中央、県南の各ボランティア・NPO活動ニュースのダウンロードもできます。



# 助成金情報

## ◎平成18年度(第12回)「地域における子育て支援ボランティア活動」

**対象:** 地域福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループで、法人格の有無は問いません。

**主旨:** キリン福祉財団は地域に根付く小さな福祉活動を支援。テーマは昨年と同様「地域における子育て支援ボランティア活動」。

**申請方法:** 所定の申請書を送付。

**助成金:** 総額2,300万円。1件当りの上限額30万円。

**募集期間:** 11月22日まで。

**問合せ:** キリン福祉財団 〒104-8288 東京都中央区新川2丁目10番1号  
キリンビル棟新川本社ビル2階  
TEL:03-5540-3522 FAX:03-5540-3525  
**関連URL:** <http://www.kirin.co.jp/active/social/foundation/>

## ◎日本水大賞

**対象:** 水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動。個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

**主旨:** 日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。健全な水循環系の再生は、産学官はもとより民間非営利組織(NPO)や一般住民の方々まで含めて、一体となって取り組む必要があります。

**申請方法:** 所定の申請書を送付。

**助成金:** 大賞200万円、大臣賞50万円、民活動賞30万円、国際貢献賞30万円、奨励賞10万円、審査部会特別賞10万円。  
**募集期間:** 11月30日まで。

**問合せ:** 日本水大賞委員会事務局  
(社)日本河川協会 〒102-008 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階 (社)日本河川協会内 担当:小野、佐藤(平日9:15~17:30)  
TEL:03-3238-9771 FAX:03-3238-2426  
E-mail:taisyo@japanriver.or.jp  
**関連URL:** <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/index.htm>

## ◎日本郵政公社年賀寄附金配分による助成金申請の公募

**対象:** 営利を目的としない公益の増進に寄与する法人格を持つ団体。

**主旨:** 昨年、年賀葉書等を購入いただいた皆様から約9億円の寄附金をお預かりして、社会貢献事業等を行う団体に助成しました。本年は、助成資金をより適切かつ有効に社会に還元するために、配分対象の拡大など見直しを行

い、配分団体を公募します。

**申請方法:** 所定の申請書を送付。

**助成金:** 1件あたり上限500万円、総額8.8億円(前回実績)。

**募集期間:** 11月30日まで。

**問合せ:** 日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局 〒100-8798 東京都千代田区霞が関1丁目3-2  
TEL:03-3504-4401 FAX:03-3580-5399  
**関連URL:** <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

## ◎平成18年度子どもの体験活動助成募集

**対象:** 自ら主催し子どもの健全な育成を目的として、子どもの体験活動の振興に取り組む団体。平成18年4月1日から平成19年3月31日までの間に行われる、次の活動に対して助成。

①子どもを対象とする体験活動。

②子どもの体験活動の支援活動。

**主旨:** 子どもゆめ基金は、子どもの健やかな育成を願って活動されている皆様にバックアップします。

**申請方法:** 応募したい活動の計画調書に必要書類を添付の上、応募。

**助成金:** 2万円以上2,000万円。1件あたり50万円から300万円。

**募集期間:** 12月5日まで。

**問合せ:** 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
TEL:0120-579-081

**関連URL:** <http://cs.kodomo.nyc.go.jp/yume/jyosei/index.html>

## ◎平成18年度子どもの読書活動助成

**対象:** 自ら主催し、子どもの健全な育成を目的として、子どもの読書活動の振興に取り組む団体。平成18年4月1日から平成19年3月31日までの間に行われる、次の活動に対して助成。

①子どもを対象とする読書活動。

②子どもの読書活動の支援活動。

**主旨:** 子どもゆめ基金は、子どもの健やかな育成を願って活動されている皆様にバックアップします。

**申請方法:** 応募したい活動の計画調書に必要書類を添付の上、応募。

**助成金:** 2万円以上2,000万円。1件あたり10万円から300万円。

**募集期間:** 12月5日まで。

**問合せ:** 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
TEL:0120-579-081

**関連URL:** [http://cs.kodomo.nyc.go.jp/yume/jyosei/dokusho\\_boshu.html](http://cs.kodomo.nyc.go.jp/yume/jyosei/dokusho_boshu.html)

## ◎平成18年度子ども向け教材開発・普及活動助成

**対象:** 自ら主催し、子どもの健全な育成を目的として、子ども向け教材の開発・普及活動を行う団体。

**主旨:** 子どもの体験活動や読書活動を支援・補完することを目的として、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの間に行う教材開発・普及活動に対して助成。

【教材の開発条件】①助成金の交付を受けた団体は、開発したソフトを最低3年間は無償でインターネットで提供又はCD-ROM等の媒体により利用者に無料又は廉価で提供しなければならないこと。なお、3年間の普及期間中は毎年度末及び理事長が求めた場合には、その普及状況を文書で提出すること。②平成19年3月31日までにソフトの開発が完了し、利用者への提供が開始できる状態にあること。

**申請方法:** 応募したい活動の計画調書に必要書類を添付の上、応募。

**助成金:** 2,000万円を限度とし、標準額は500万円とします。

**募集期間:** 12月5日まで

**問合せ:** 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
TEL:0120-579-081

**関連URL:** [http://cs.kodomo.nyc.go.jp/yume/jyosei/kyozai\\_boshu.html](http://cs.kodomo.nyc.go.jp/yume/jyosei/kyozai_boshu.html)

## ◎平成18年度花博記念協会助成金

**対象:** 公益法人(財団法人、社団法人等)、特定非営利活動法人(NPO)、人格なき社団(研究グループ、実行委員など)のうち非収益団体であって代表者の定めがあるもの

**主旨:** 1990年に大阪で開催された国際花と緑の博覧会の基本理念の継続発展・普及開発につながる研究開発や活動などを支援し、潤いのある社会の創造に寄与することを目的として、平成18年度に実施する助成事業の公募を行います。

**申請方法:** HPをご覧ください。

**助成金:** 事業実施に直接必要な費用(助成対象経費)の総額の2分の1以内 [調査研究開発]: 1件当たり100万円以内、[活動・行催事]: 1件当たり50万円以内  
**募集期間:** 12月12日まで

**問合せ:** 財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会企画部企画課 〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-136  
TEL:06-6915-4516 FAX:06-6915-4524  
**関連URL:** <http://www.expo90.jp/zyosei/b.html>

# ボランティア・カレンダー

平成17年11月15日～12月15日

11/15(火)		12/ 1(木)	
16(水)	ハングル語講座(18:30～男女共同参画センター)	2(金)	コミュニティビジネスセミナー(13:30～男女共同参画センター)
17(木)		3(土)	
18(金)	まちづくりフォーラム(10:00～男女共同参画センター)	4(日)	
19(土)	国際理解・民際交流会(10:00～横手女性センター) 政策チャレンジセミナー(10:00～男女共同参画センター)	5(月)	
20(日)	自然を愛する皆さんの集い(13:00～煉瓦屋)	6(火)	
21(月)	フラワーアレンジメント(10:00～男女共同参画センター) 地域主権時代の東北を考える(13:30～盛岡)	7(水)	ハングル語講座(18:30～男女共同参画センター)
22(火)		8(木)	ヒューマニティーコミュニケーション企画2005 歌の好きな人集まれ!(19:00～煉瓦屋)
23(水)	年賀はがき用版画作り(9:00～大森町) 子どもの生きる力を育むためのワークショップ(13:30～あさくら館) ハングル語講座(18:30～男女共同参画センター)	9(金)	
24(木)	地域づくり基本指針の策定に向けた意見交換会(13:30～かまくら館)	10(土)	
25(金)	フラダンス健康講座(19:00～男女共同参画センター)	11(日)	横手おやこ劇場鑑賞活動(14:30～かまくら館)
26(土)	秋田県ボランティア・市民活動研究集会(10:00～遊学会) 第6回北東北『川・水環境』ワークショップ(13:00～大仙市)	12(月)	
27(日)	第6回北東北『川・水環境』ワークショップ(9:00～大仙市) 秋田県ボランティア・市民活動研究集会(10:00～遊学会)	13(火)	
28(月)	お茶を愉しむ会(10:00～18:30～男女共同参画センター)	14(水)	ハングル語講座(18:30～男女共同参画センター)
29(火)		15(木)	
30(水)	ハングル語講座(18:30～男女共同参画センター)	※イベント情報は掲載後日程が変更になる場合もあります。	

## 編集後記

カレンダーも残すところ後1枚となりました。この季節、冬に備えての準備等で何かとお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

5月から毎月発行していた「はんさん」も7号となりました。取材をつうじて様々な『地域の力』との出会いがあり、これを活かせるように、紙面をとおしてお手伝いできればと思っています。  
(A・P)

ボランティア・NPOニュース 県南版11月号

平成17年11月15日発行

発行：秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2

TEL：018-860-1520

編集：NPO法人秋田県南NPOセンター

〒013-0046 横手市神明町1-9

(南部市民活動サポートセンター)

TEL：0182-33-7002 FAX：0182-33-7038

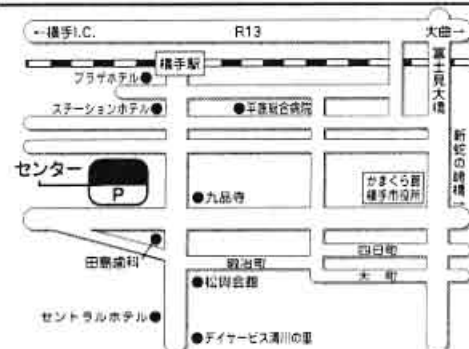
## 南部市民活動サポートセンター

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(月～水・金曜日)  
午前9時～午後5時(土曜・祝日)  
木曜日は休館日

TEL. 0182-33-7002 FAX. 0182-33-7038

E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。